



代替的選択肢が欧州のローン市場を牽引



グレアム・デラニー・スミス、
アルセントラ欧州直接貸出及び
メザニン投資部門ヘッド

アルセントラの欧州直接貸出及びメザニン投資部門のヘッドを務めるデラニー・スミスによると、欧州では規制変更や銀行のレバレッジ解消により、代替的ローンの貸し手にとって新たな市場が急速に拡大している。

デラニー・スミスは欧州における現在の貸出環境について、世界的な金融危機の後、欧州の銀行に対して新たな規制が過剰に導入されていると指摘しています。例えば、バーゼルⅢなどの自己資本規制が課された結果、銀行はバランスシートの改善を求められているほか、レバレッジの解消、そして場合によっては中堅企業向け融資の引き揚げなどを招いています。

彼は「金融危機を背景に何が起きたかと言え、銀行セクターからの資本供給が著しく枯渇した。金融危機以降、銀行はバランスシートの改善に努めており、そのプロセスはまだ続きそうだ」と述べています。

デラニー・スミスによると、リスクに対する銀行の姿勢変化や中規模企業への融資削減を受け、銀行セクターへの依存度が高い欧州のローン市場でますます資本の逼迫感が強まっています。

彼は「欧州にとって問題なのは、米国と異なり、銀行貸出に代わる本格的な代替手段を何も確立してこなかったことだ。ローン市場はほぼ全面的に銀行セクターによる資金供給に頼ってきた」と述べています。

アルセントラなど代替的な貸し手がますますそうした市場の空白を埋めており、デラニー・スミスは、代替的な貸出市場が徐々に成長する可能性があるともみています。

彼は「2012年以降は経済環境が改善し始めており、資金需要や資本調達活動がますます活発化している。欧州市場ではすでにかかなりの額の資本が調達されたが、それでも市場ではなお投資機会の方がはるかに多く、資金需要が満たされるのはまだ先のことになる。S&Pのデータによると、欧州の中堅企業は借り換えや事業拡大のため今後5年間で2兆7,000億～3兆ユーロが必要になる見通しだ」と述べています。



代替的貸出市場はかつて「シャドウバンキング」問題でネガティブなイメージがまとわりついていましたが、デラニー・スミスは、欧州市場では徐々に信頼感を取り戻したと指摘、「市場は非常に素早く底辺から立ち直った。最初の2年間は貸し手の信頼性を巡る懸念も多少はあったが、多くのディールが成立するのに伴い、代替的な貸し手は今やしっかりした存在感を確立し、競争も激しさを増している」と語っています。

デラニー・スミスによると、成長を牽引している要因の一つはプライベートエクイティ会社で、それが欧州における企業合併及び買収ビジネスを力強く牽引しています。地域別に見れば、代替的貸出の「先頭」を走ってきたのは英国で、ディール全体の約40%を占めていますが、フランスやドイツなど他の市場も著しい成長を遂げています。

また、スカンジナビアやベネルクス諸国など欧州の他の地域でもディールが拡大しており、スペインやイタリアといった欧州周縁諸国ですらローンの貸し手や投資家に大きな潜在的機会が提供されています。

デラニー・スミスは「欧州周縁諸国の一部は我々にとって依然として重要な市場であり、スペインやイタリアなどの国々はローンの法的位置づけを改善するため法制化に向けた措置を講じており、それは全般的な貸出活動を後押ししている」と付け加えました。

ローン市場の将来的な見通しに関しては、欧州が米国市場の成熟度に追いつくにはまだしばらく時間がかかるが、あらゆる指標は今後も着実な成長が見込まれることを示している、と指摘しました。

そのうえで、「米国と欧州のローン市場については多くのことが比較されているが、今後6~10年のうちに健全で制度の整ったローン市場ができ上がるだろう。その過程では資金を調達する金融機関がある程度自然に選別される可能性が高いが、いずれは欧州市場が銀行に依存したモデルから脱却し、代替的な貸し手を全面的に受け入れることになるだろう」と述べています。

本情報提供資料は、BNY メロン・グループ（BNY メロンを最終親会社とするグループの総称です）の資産運用会社が提供する情報について、BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が審査の上、掲載したものです。当資料は情報の提供を目的としたもので、勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、作成時点での見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社
BNY Mellon Asset Management Japan Limited

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 406 号

〔加入協会〕 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会